

衆議院予算委員会ニュース

平成 21.5.7 第 171 回国会第 24 号

5 月 7 日（木）第 24 回の委員会が開かれました。

- 1 平成 21 年度一般会計補正予算（第 1 号）
平成 21 年度特別会計補正予算（特第 1 号）
平成 21 年度政府関係機関補正予算（機第 1 号）
- ・麻生内閣総理大臣、鳩山総務大臣、森法務大臣、中曽根外務大臣、与謝野財務大臣、塩谷文部科学大臣、舛添厚生労働大臣、石破農林水産大臣、二階経済産業大臣、金子国土交通大臣、斉藤環境大臣、河村国務大臣（内閣官房長官）、小淵国務大臣（少子化対策担当大臣）、渡辺厚生労働副大臣、谷人事院総裁及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。
- （参考人）日本銀行総裁 白川方明君
日本郵政株式会社取締役兼代表執行役社長 西川善文君

（質疑者及び主な質疑内容）

町村信孝君（自民）

- ・我が国の新型インフルエンザ対策の現状について伺いたい。
- ・現下の経済情勢等にかんがみ、平成 21 年度補正予算の一刻も早い成立が必要と考えるが、麻生内閣総理大臣の早期成立に向けての決意を伺いたい。
- ・金融機関の貸し渋りの現状及び日本銀行の対策について伺いたい。
- ・地域の中小企業者の受注機会確保のために公共工事発注方法の改善が必要と考えるが、麻生内閣総理大臣の見解を伺いたい。

園田博之君（自民）

- ・補正予算において、複数年度にわたる支出を目的とする項目を設けた理由は何か。
- ・低炭素社会構築における「スクール・ニューディール」構想の内容はどのようなものか。
- ・増大する社会保障費の財源として、消費税を増税するという考えについて、麻生内閣総理大臣及び与謝野財務大臣の見解を伺いたい。

伊藤公介君（自民）

- ・官僚の天下りや「わたり」が問題となっているが、昨年施行された公益法人制度改革には天下りの抜け穴があるのではないか。

- ・介護報酬の改定により、短時間の訪問介護の報酬が引き上げられたが、その他の報酬も公平に引き上げられるべきではないか。

葉梨康弘君（自民）

- ・5 月 1 日に国家公務員の賞与を減額する臨時の人事院勧告を行った背景について、谷人事院総裁に伺いたい。
- ・平成 22 年 1 月に社会保険庁は廃止され、日本年金機構が設立されるが、社会保険庁で不正な行為に関与した職員を、日本年金機構では不採用または解雇する必要があるのではないか。
- ・日本郵政株式会社の民営化の進め方について、西川社長はどう考えているのか。

赤羽一嘉君（公明）

- ・太陽光発電、エコカー、省エネ家電の普及によって低炭素社会を実現する必要性について、斉藤環境大臣の見解を伺いたい。
- ・経済的な理由によって、学校を中退するなど学業を断念せざるを得ない生徒が増加している現状に対して、文部科学省はどのような対策を行っているのか。
- ・メガバンクによる中小企業向け貸出について、貸出条件の緩和、元本返済の猶予を実施するよう金融庁が指導する必要があるのではないか。

福島 豊君（公明）

- ・子育て応援特別手当の支給等、子育て支援策の充実の必要性について舛添厚生労働大臣はどう考えているのか。
- ・介護保険制度の在り方を見直し、将来の安心を確立できる方向に改良する必要があるのではないか。
- ・がんの早期発見、早期治療のためには検診率向上が必要であるが、補正予算における検診率向上に向けた取組みはどうなっているのか。

菅 直人君（民主）

- ・本補正予算は、麻生内閣において4回目の予算提出であり、これは、目先の対応に追われて、先行きを見通すことができなかったからではないのか。
- ・今回の補正予算には、多くの基金が予算措置されているが、事業の実施体制は整っておらず、取りあえず、予算を積み上げて確保しようというものではないのか。
- ・財政危機に代表される我が国の現状を打開するために、中央集権から地方主権など「国のかたち」を変えることが必要と考えるが、麻生内閣総理大臣の見解を伺いたい。

前原 誠司君（民主）

- ・平成21年度補正予算では、日本経済の弱点とされる医療・介護分野への投資は盛り込まれているのか。
- ・医療従事者の過酷な勤務実態について、補正予算で解消されるのか。
- ・自治体財政健全化法を厳格に適用すれば、経営が苦しい自治体病院が閉鎖に追い込まれるおそれがあるので、自治体財政健全化法の自治体病院への適用を見直すべきではないか。

西村 智奈美君（民主）

- ・日本で子供を育てるのが苦しいとされるのは、公的な支援の不足が原因なのではないか。
- ・子育て応援特別手当の支給対象を3歳から5歳までとしたことに合理性はあるのか。また1回限りの措置で少子化対策としての効果はあるのか。
- ・生活保護の母子加算手当の廃止は、見直すべきではないか。